

2022年度 関東中学校ゴルフ選手権・男子個人決勝大会

開催日：1月17日(火)

開催コース：真名カントリークラブ 真名ゲーリープレーヤーコース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2 罰打)**」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 18.2)

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. レッドペナルティーエリア(規則 17)

レッドペナルティーエリアは赤杭又は赤線によって定められる。線と杭が併用されている場合は、線はペナルティーエリアの縁を定め、杭はペナルティーエリアの場所を示す。

3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)

(a) 修理地

青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 距離表示用の人工のヤーデージマーク。(距離表示用の杭を除く)

(3) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。

(4) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

4. プレー禁止区域

電磁誘導カートの2本のレール(白線でつながれている区域を含む)は全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。

5. 不可分な物

以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。

(a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。

(b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。

6. 規則 11.b例外 2 に基づいてパッティンググリーンから行われたストロークを再プレーしなければならないケース(ローカルルールひな型D-7)

規則 11.b例外 2 は、プレーヤーがパッティンググリーンからプレーした球が偶然に次のものに当たった場合には適用しない。

・そのプレーヤー

・そのストロークを行うためにそのプレーヤーによって使用されたクラブ、または、

・ルースインペディメントとして定められる動物(つまり、ミミズ、昆虫や簡単に取り除くことができる類似の動物)。

そのストロークはカウントし、球はあるがままにプレーしなければならない。

7. 後方線上の救済をとり、救済エリアの外からプレーした球

後方線上の救済を受ける場合、プレーヤーが関連する規則(規則 16.1c(2)、17.1d(2)、19.2b、19.3b)によって求められる救済エリア内に球をドロップしたが、その球がその救済エリアの外に止まった場合、その球をドロップしたときに最初に地面に触れた箇所から1クラブレンジ以内にその球が止まっているのであれば、追加の罰はない。

この罰の免除は、球が基点よりホールに近い所からプレーされていたとしても、元の球の箇所や、球がペナルティーエリアの縁を最後に横切ったと推定した地点よりホールに近づいてプレーしていなければ、適用する。

このローカルルールは関連する規則の後方線上の救済に関する処置を変更するものではない。つまり、基点と救済エリアはこのローカルルールによって変更されず、正しい方法で球をドロップし、その球が救済エリアの外に止まったプレーヤーは、それが起きたのが最初のドロップであっても、2 回目のドロップであっても、規則 14.3c(2)を適用することができる。

8. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていないなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

9. ゴルフシューズ

ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた 1 つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。

このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照

10. プレーの中断と再開(規則 5.7)

(a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b、c、d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

即時中断 : }
通常の中断 : } サイレンと場内放送によりプレーヤーに連絡する。
プレーの再開 : }

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

11. 練習(規則 5.5)

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

12. 移動

乗用カートの乗車を可とする。有効に利用して速やかなプレーの進行を心がけること。

13. キャディー

プレーヤーはラウンド中キャディーを使用してはならず、基本はセルフプレーとするが、キャディーバッグは共用の乗用カートによる運搬とする。(各組にスコアラー1名が帯同するが、スコアラーはキャディーではない。)

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員長長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

競技委員長 桜井 敦

距離表 真名カントリークラブ (中学男子決勝会場)

使用ティーマーカーは、青色とする
使用グリーン:ベントグリーン

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT	
Yards	422	512	150	375	384	177	557	327	417	3321	
Par	4	5	3	4	4	3	5	4	4	36	
	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
	150	375	174	341	453	485	178	373	492	3021	6342
	3	4	3	4	5	5	3	4	5	36	72

注意事項

1. ローカルルール・競技の条件の変更等がある場合はスタートに掲示して告示します。
 2. クラブハウス内での携帯電話の使用を禁止します。ただし、セルフプレーであることから緊急時の連絡用に携行にご協力ください。しかしながら、緊急連絡以外の使用で他のプレーヤーに迷惑をかけたたり不快な思いをさせたりなど重大なエチケット違反があった場合は競技失格となることがあります。携帯電話は駐車場のみ使用できます。
 3. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合があります。
 4. ローカルルール9項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがあります。
 5. スタート前の練習については主催者の指示に従ってください。
打ち放し打撃練習場においては備え付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1コインを限度とします。
※ ウッドクラブの使用は禁止です。また、アプローチ練習場の使用を禁止とします。
 6. 令和4年4月1日より、日本高等学校・中学校ゴルフ連盟のユニフォーム規定が改定されましたので、各自 HP で十分確認し、ユニフォーム規定を遵守してください。守れない場合は、大会参加を認めません。また、プレー中は着帽をしてください。
 7. 全使用球にフルネームと、通し番号を記入しておいてください。(スタート前に確認をします。)
 8. 頭髪にパーマント等を施している者、長髪の者、茶色に染めている者等は参加できません。ピアス、ブレスレット等の装飾品等は身につけないでください。守れない場合は、大会参加を認めないこともあります。
 9. マスクは、ラウンド中以外のクラブハウス・練習グリーンなどでは必ず着用してください。
 10. ロッカールームでの飲食は禁止です。
- ※ 新型コロナの感染対策として、朝の検温で37, 5度以上の熱がある場合は競技に参加できません。速やかにお帰りいただくこととなります。